

がん相談業務 (院内におけるピアサポート)

相談記録シート集計報告

実施期間：令和4年4月1日～令和4年6月30日

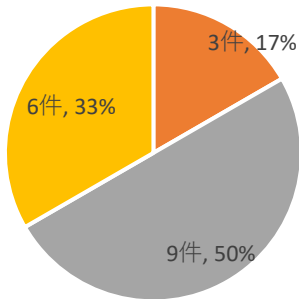
がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

■ 調査対象期間 令和4年4月1日～令和4年6月30日

■ 調査件数 18件

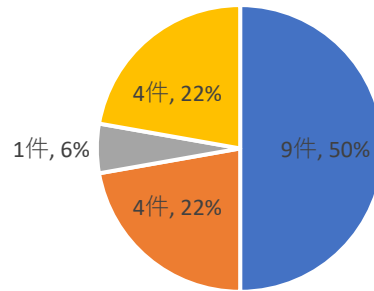
相談月	件数
4月	9
5月	6
6月	3
合計	18

相談時間



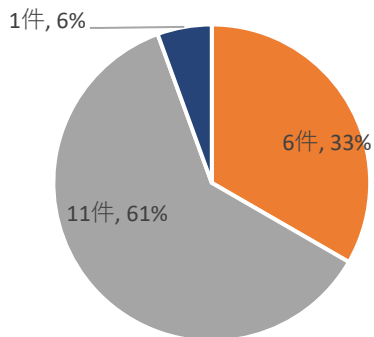
■ 10分未満 ■ 10分～30分未満 ■ 30分～60分未満
■ 60分～90分未満 ■ 90分以上 ■ 未計測

相談形式



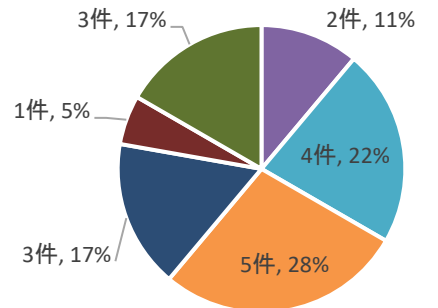
■ 相談室 ■ 病棟 ■ 外来 ■ 電話相談 ■ その他

相談者の移住エリア



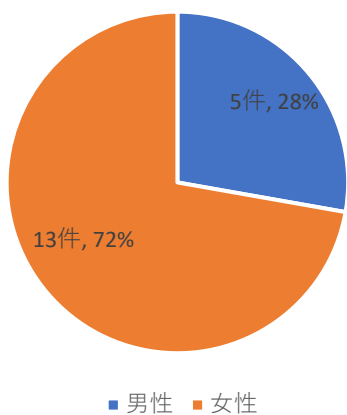
■ 北部 ■ 中部 ■ 南部 ■ 宮古
■ 八重山 ■ その他 ■ 不明

相談者の年代

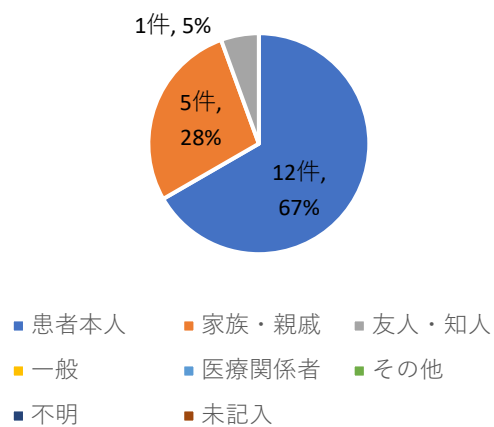


■ 10歳代 ■ 20歳代 ■ 30歳代
■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代
■ 70歳代 ■ 80歳代以上 ■ 不明

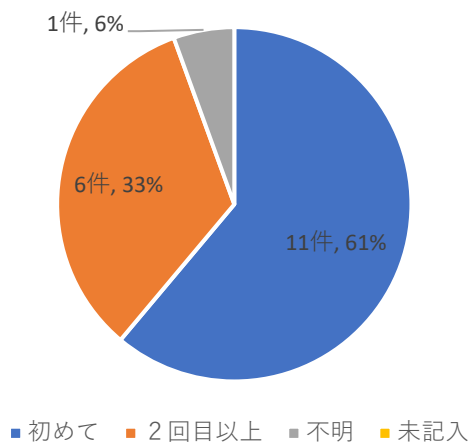
相談者の性別



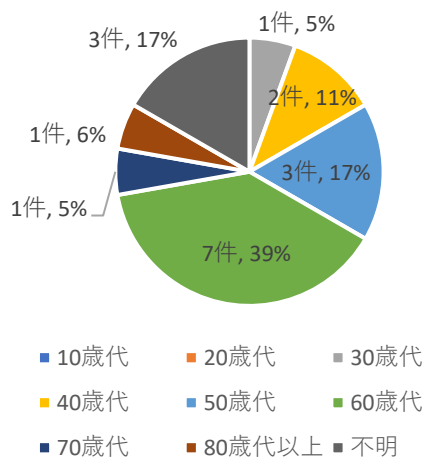
相談者のカテゴリー



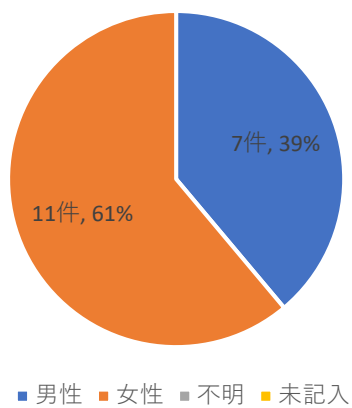
相談者の利用回数



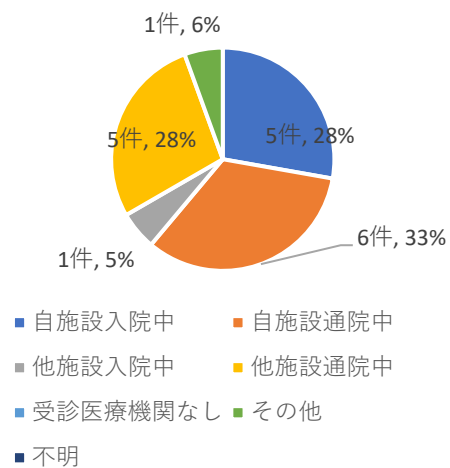
患者本人の年代



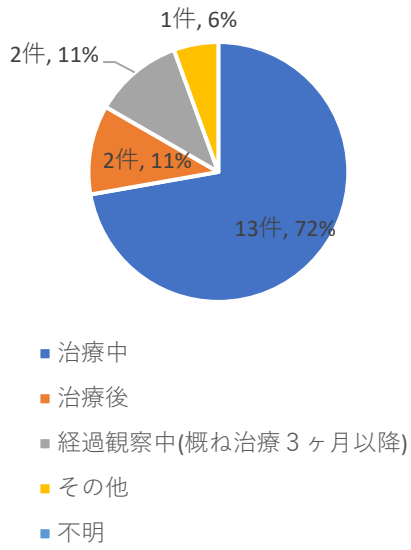
患者本人の性別



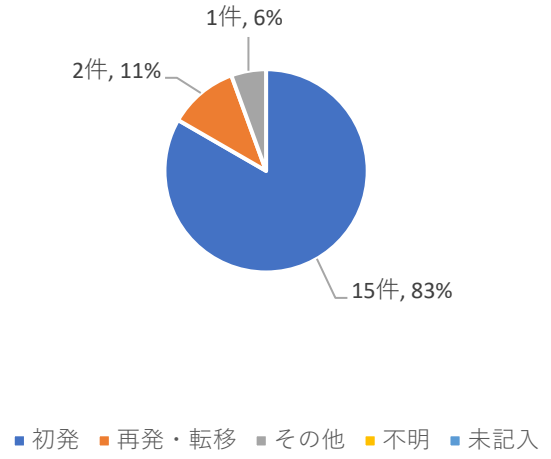
受診状況



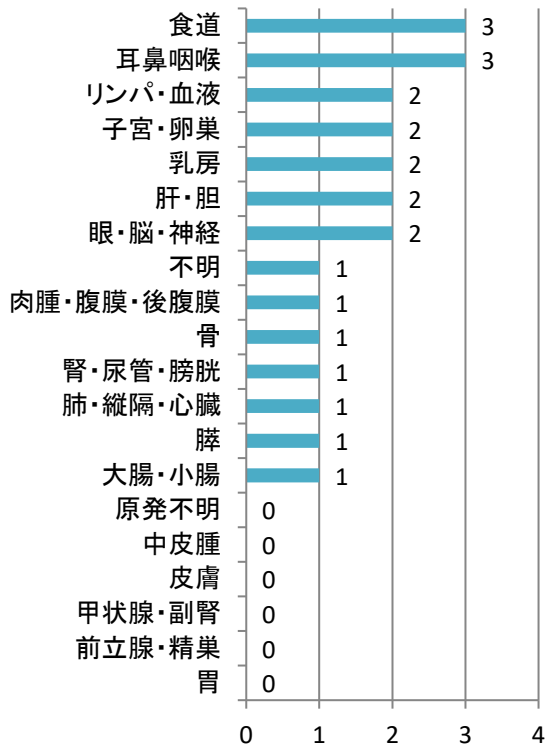
現在の治療状況



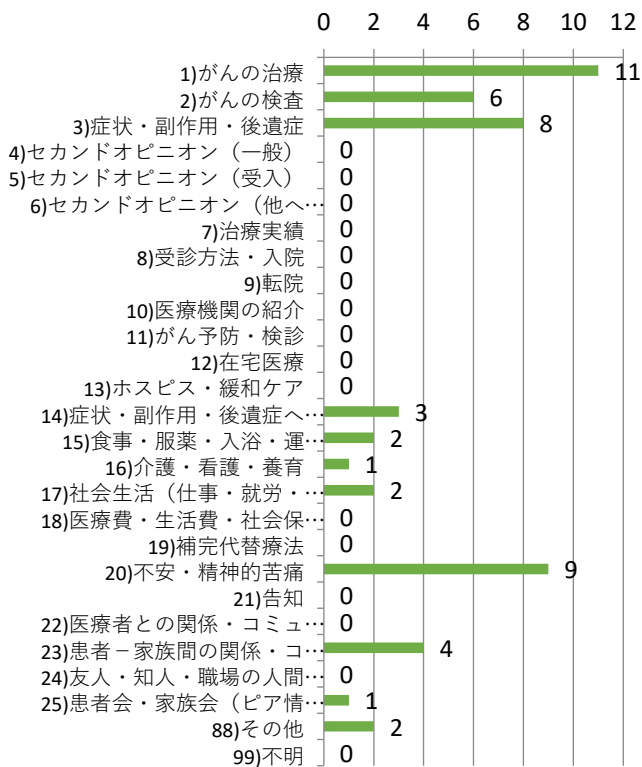
がんの状況



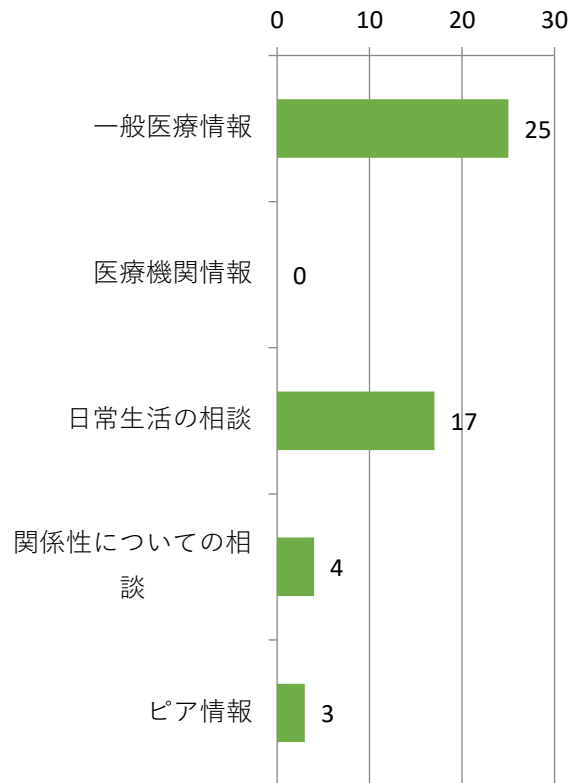
がんの部位



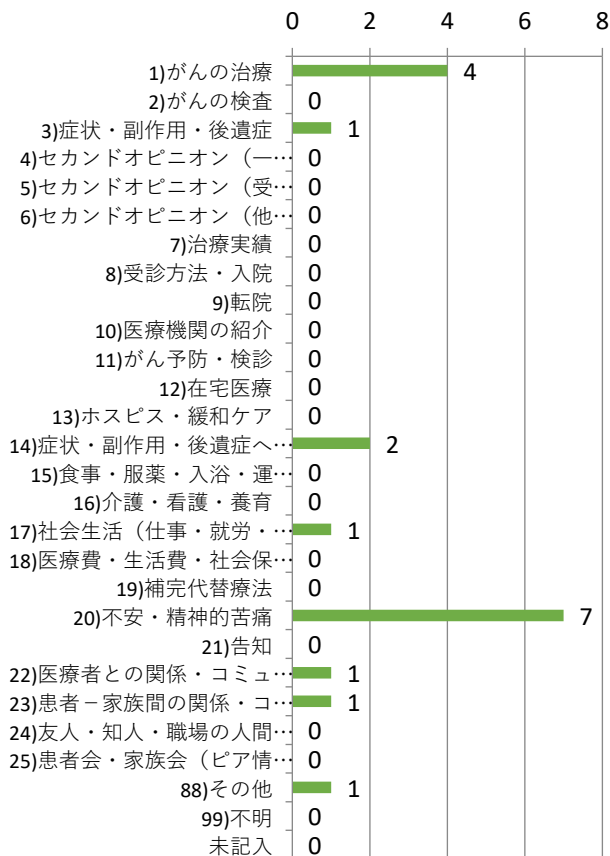
相談内容（実施したもののすべて）



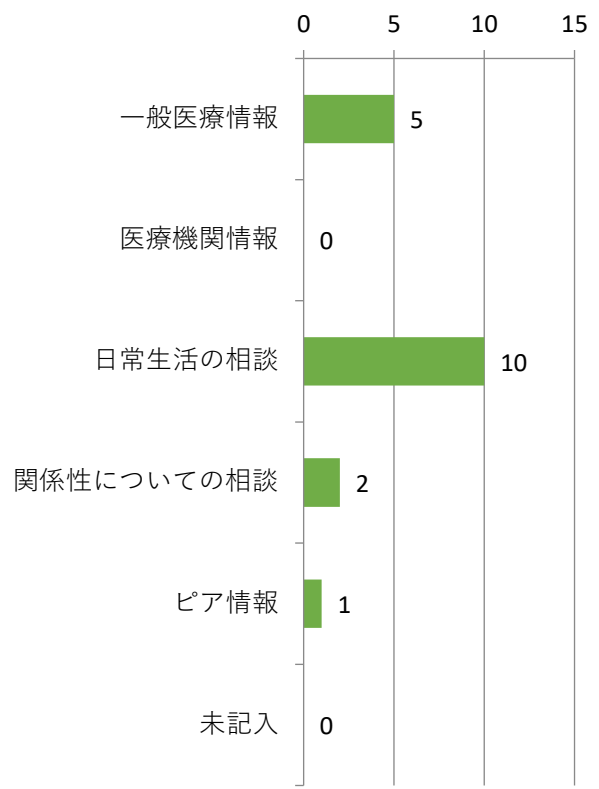
相談内容（実施したもののすべて・大項目別）



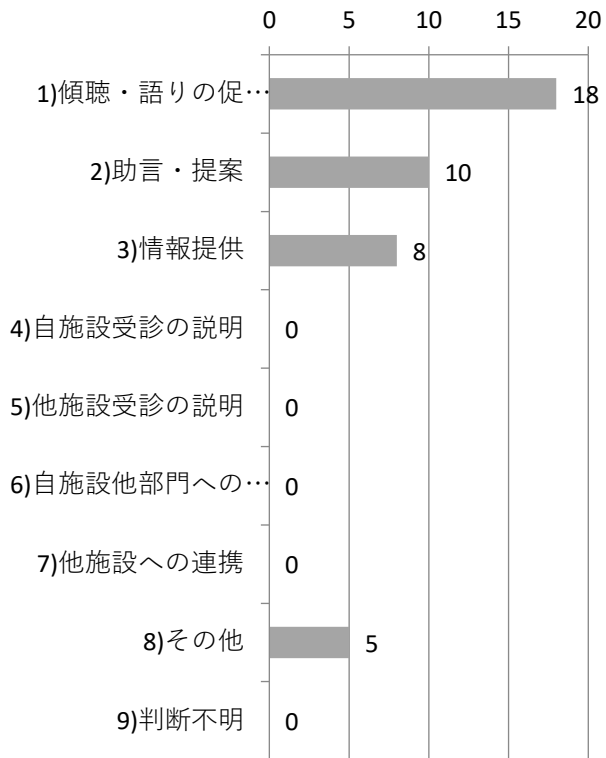
相談内容（最も比重の高いもの）



相談内容（最も比重の高いもの・大項目別）



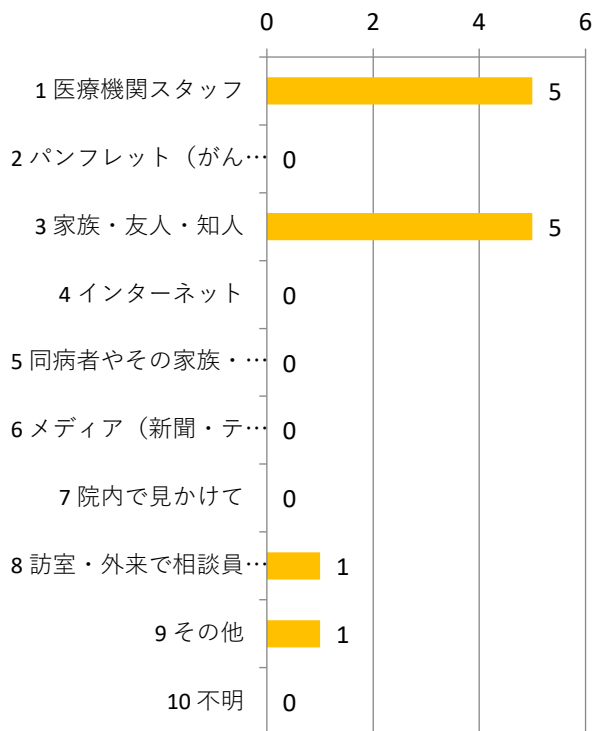
対応内容（実施したものすべて）



対応内容（最も比重の高いもの）



認知経路



① がんピアサポーター派遣事業

第1回 沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書

名 称	ゆんたく会（がんピアサロン）
参加目的	沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを各拠点病院の院内患者サロンへ派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和4年4月5日（火）14：00～16：00 場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター（事務補佐員欠席）
主 催	琉球大学病院 がん相談支援センター
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・琉球大学病院 薬剤師 国場 訓先生による講演会『がんとお薬』。 ・うがい薬はなるべく市販は使用せず相談してほしい。 ・それぞれの薬で副作用が違う。 <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抗がん剤治療前に口内炎をチェックする意味は何か。 →口内炎がひどい方は抗がん剤を投与して悪化するとご飯が食べれなく食欲が落ち体力がなくなり治療が長引く、口内炎があることで抗がん剤治療を中止することはない。 ・副作用が怖くて薬物療法が出来ない場合は？ →必ず副作用が出るわけではないし、今は対策のお薬が進化しているので副作用の対策をしながらやっていく。 ・サプリメントを飲んでいる方が多いがどうなのでしょう →お薬と飲み合わせの悪いサプリメントがあるので手術前のサプリメントは血液をさらさらにしたりするので中止させている。 ☆参加者1人1人が真剣にお薬について質問を行っていた。 <p>【自己紹介およびフリートーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても落ち着いた雰囲気でお薬さん同士で話し合いを行っていた。 <p>（患者様5名、薬剤師1名、ピアサポーター1名、看護師2名、院内スタッフ2名）</p>



①がんピアサポーター派遣事業

第2回 沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書

名 称	ゆんたく会（がんピアサロン）
参加目的	沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを各拠点病院の院内患者サロンへ派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和4年5月10日（火）14：00～16：00 場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター事務補佐 1名
主 催	琉球大学病院 がん相談支援センター
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・14：00より開催予定だが、ピアサポーターは参加者が見えるまで待機。 ・参加者0のまま14：15よりNPO乳がん患者の会びんく・ばんさあの与儀淑恵氏による「体験談スピーチ」の講演を行った。 ・休憩を挟まず質疑応答へ移行。与儀氏の体験談に基づく感想を各々述べた。 ・現在は9人に1人乳がんにかかる。乳がん検診の3割は周りから進められて受診している。 ・ピアサポーターより今現在も行われている定期健診での観察項目や心情についても質問があった。治療が終わったから完治ではなく、日々の定期健診をクリアしていき乗り越えているとお話があった。 ・患者会は今年度で15周年を迎えるとのこと。冊子の紹介もあり。 これからは、保健センターなど地域での相談の場を設けたいと新たな目標を掲げる。次の世代に繋げていけるよう後継者問題が課題として問われている。 ・おすすめの一冊としてフランス絵本の「ママはかいぞく」の紹介もあり。 ・連日のコロナウイルス感染者増加の影響か、外出自粛しているのではないかと思われる。今回のサロンは、参加者なしとのことで15：20に早々に切り上げた。 <p>*参加者（0名）・臨床検査技師1名・緩和ケア看護師1名・病院スタッフ3名・琉大相談員1名・琉大事務補佐1名</p>



① がんピアサポーター派遣事業

第3回 沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書

名 称	ゆんたく会（がんピアサロン）
参加目的	沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを各拠点病院の院内患者サロンへ派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和4年6月7日（火）14：00～16：00 場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター（事務補佐員欠席）
主 催	琉球大学病院 がん相談支援センター
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア看護師 狩俣 勇斗さんによる講演会 「医師や看護師と話す前に準備しよう」～コミュニケーションのコツについて～ ・医師とどれくらいコミュニケーションがとれているか →医師とあまりとれていない、自分の要望・希望を明確にすること、自分の気持ちに向き合う、忘れないためメモをとる。 ・医師へ伝わりやすくする方法 →眠れないくらいの痛み、息苦しくて歩けないなど、生活の上でできないことを関連させて伝えると伝わりやすい。以前と今と比較して伝えた方がいい。 ・入院中、主治医が忙しそうで、声をかけづらい →遠慮せずに聞いた方がいい。外来看護師に勇気を出して相談したいと言ってくると心が揺れ動いている患者さんなどは、外来看護師から緩和ケア看護師へ紹介してもらっている。緩和ケア看護師は患者さんの意見などを診察前に、医師へ伝えたりしている。 <p>【フリートーク】</p> <p>○院内で、ピアサポーターのチラシを見つけて、ピアサポーターさんと電話で相談した。話しやすく、気持ちが楽になってすごく良かった。嬉しくもなり、頑張らないといけないなと思い、すごく助けられた。又、しびれなのか倦怠感なのか分からない状態で相談員とも話し、もらった冊子を先生に見せて、薬を処方してもらった。相談員がいてとても助かっている。</p> <p>*参加者（3名）・緩和ケア看護師2名・病院スタッフ2名・ピアサポーター1名</p>



②がんピアサポーター派遣事業

第1回 オンラインサロン報告書

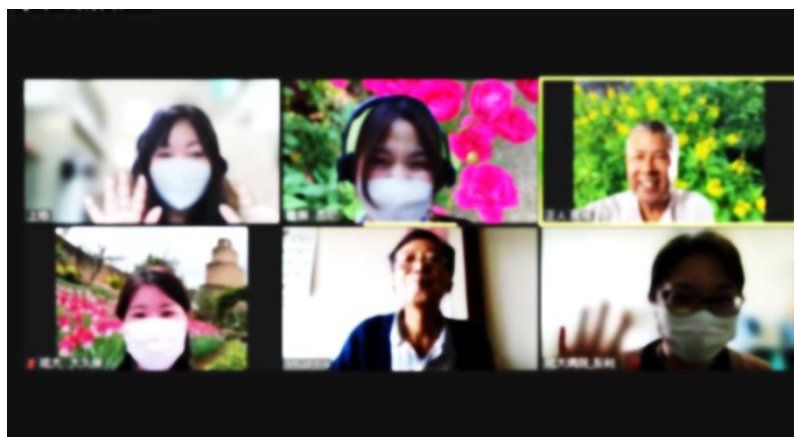
名 称	第1回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和4年4月25(火) 14:30~15:30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院大学院セミナー室 (講師・ピアサポーター)
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 1名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<p>・14:30より前年度のオンラインゆんたく会に参加頂いている患者さまが今回も引き続き参加とのことでおだやかな雰囲気での会が開始。</p> <p>・共通認識を図るための画面共有の場面で進行(事務補佐)のパソコンが落ちてしまう。代わりに院内スタッフが進行を受け継ぎ、各々自己紹介を終えフリートークへ移る。</p> <p>・対面での参加を控えており、かつ直接会場に足を運ばなくてもいいというのが都合がいいとのことでオンラインの良さを感じた。前回のピアサロンでのヨガも好評で、上達しているか確認するためにもまた開催して欲しいとの希望の声があがる。</p> <p>・ピアサポーターよりコロナ過で買い物へ行くのが難しい場合、ネットスーパーや移動販売利用の提案もあった。</p> <p>・患者様1名の参加とのことで1人が質問や受け答えをすることになり、負担にならないか心配だったが、にこやかに近況報告をしており会話も弾む。</p> <p>・15:30に次回の案内を周知し閉会となる。</p> <p>・気づきとして、今回ピアサポーターと事務補佐員の2人で同じアカウントを使いそれぞれゆんたく会に参加したがためにPCが落ちてしまったので、次回は別のアカウントで参加するよう準備が必要。ホストが落ちてしまっても慌てることなく継続して院内スタッフが進行を引継いで対応できた点は良かったのではないだろうか。また、参加者が1名と少人数だったので次回は告知をもっと早めに始めることと目に留まるようなチラシ構成へ編集しなおし変化をつけようと思う。また、他の病院ではオンラインサロンが開催できていない状況なので、他の病院に通われている患者様やご家族様も参加できるようさらなる声かけも行っていきたい。先月のオンラインゆんたく会は中止となり、今月も5月連休の兼ね合いで第4火曜日での開催となったことが参加人数の確保が出来なかった要因ではないかと考える。次回の開催に期待したい。</p> <p>*参加者(患者様1名・ピアサポーター1名、院内スタッフ2名、事務補佐員1名)</p>



②がんピアサポーター派遣事業

第2回 オンラインサロン報告書

名 称	第2回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和4年6月21日(火) 14:30~15:30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院がんセンター内 (講師・ピアサポーター)
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 1名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<p>・14:30より第2回オンラインゆんたく会を開催。</p> <p>・背景を各々変更し、明るい雰囲気ではじめられる。背景を変えることで気持ちも変わるように感じた。</p> <p>・オンラインゆんたく会でのお約束事を読み上げ共通認識を図り、互いに自己紹介を終えフリートークに移る。</p> <p>・「心配ごとや不安なこと」が議題に上がる。</p> <p>① 先生とお話できるのが5分しかないとのことでコミュニケーションが上手く取れない。 →ピアサポーターより、前回対面での第3回琉大ゆんたく会での話を共有する形でアドバイスがあった。お医者さんに話したいことをメモ書きし、遠慮せずお話するといいい。もう1人の患者様より、毎日日誌を付け、聞きたいことを記入してお渡ししているとの情報提供があった。</p> <p>② リンパ浮腫とのことで浮腫みを改善するために、医療用弾性ストッキングをしているが、他に対策ないだろうか。看護師によるマッサージは、手術後にしか行っていないと言われた。 →訪問看護でリンパマッサージもサービスとしてはあるので、主治医の先生に相談や通院されているがん相談支援センターに直接院内スタッフをご案内。</p> <p>・今回は参加者2名とのことでお互いに質問しあったり、みなさん聞き上手になりスムーズにゆんたくできたのではないだろうか。15:30に次回の案内をし閉会となる。</p> <p>*参加者(患者様2名・ピアサポーター1名、院内スタッフ2名、事務補佐員1名)</p>



第8回 がんピアサポーターフォローアップ研修会

チラシ

開催日時：令和4年7月23日（土）

参加無料

がんピアサポーター フォローアップ研修会

コロナ禍で
どのようにピアサポートしたらいい？
さらなるスキルアップを図りたい！

みなさまのやる気をサポートいたします！

令和 4 年 7 月 23 日（土）

9：30 受付 10：00 開始

対象：がんピアサポーター
養成講座修了生

会場：沖縄県医師会館
3階 ホール

※ 新型コロナウイルス感染症の
感染状況によっては
オンラインへ切替となります

定員：先着49名

申込方法：FAX、電子メール、
郵送にて令和4年7月8日（金）必着

● 離島の方を対象に旅費助成を行います
詳細はお問い合わせください

新型コロナウイルス 感染拡大防止対策

- ・ 会場でのお食事は禁止されております。
近隣の食堂をご利用ください。
- ・ 発熱（37.5℃以上）の症状のある方、
風邪症状のある方はご遠慮ください。
- ・ 入室前に検温のご協力をお願いします。
- ・ 当日は、マスクの着用での参加をお願いします。

国立がん 研究センター
東病院精神腫瘍科長
先端医療開発センター 精神腫瘍学
開発分野長

小川 朝生 先生



NPO法人支え合う会「α」
副理事長

野田 真由美 氏



主催：沖縄県地域統括相談支援センター

講師紹介

おがわ あさお
小川 朝生 先生

専門領域
精神医学、精神腫瘍学

専門医・認定医資格など
日本精神神経学会
精神科専門医・指導医
日本医師会認定産業医

略歴

- 1999年 大阪大学医学部医学科 卒業
- 2004年 大阪大学大学院医学系研究科 修了
国立病院機構大阪医療センター 神経科 医員
- 2007年 国立がんセンター東病院 精神腫瘍科 医員
- 2009年 国立がんセンター東病院 臨床開発センター
精神腫瘍学開発部 心理社会科学室長
- 2012年 国立がん研究センター東病院 臨床開発センター
精神腫瘍科長（併任）
- 2013年 国立がん研究センター東病院 臨床開発センター
精神腫瘍学開発分野長 東病院 精神腫瘍科長（併任）
- 2015年 国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科長
先端医療開発センター 精神腫瘍学開発分野長（併任）

のだ まゆみ
野田 真由美 氏

NPO法人支え合う会「α アルファ」 副理事長

千葉県がんピアサポート事業に立ち上がりから関わり、ピアサポーターの養成から活動の場の創設、活動支援を行ってきた。

平成23・24年度 厚生労働省委託事業「がん総合相談に携わる者への研修プログラム策定」
作業部会委員・評価委員

平成30年度 厚生労働省委託事業「日本サイコオンコロジー学会ピア養成研修ワーキンググループ」
委員として、ピア研修プログラム改訂作業に当たっている。

第1部 研修会 10:00～16:00

講師の講習を受け、患者会やサロンで活動する中で見えてくる困ったこと、不安など、ご自身の対応を振り返りながらグループで話し合い、解決の糸口を見出します。

第2部 交流会 16:00～17:00

近況報告と今年度に向けての意見交換会を行います。

10:00	開会 講演①小川 朝生 先生 講演②野田 真由美 氏 (休憩) ロールプレイによる 実践的トレーニング
16:00	がんピアサポーター交流会
17:00	閉会

会場マップ



沖縄県医師会館
〒901-1105
南風原町字新川218-9

<アクセス>

沖縄都市モノレール首里駅前バス停から1番（首里牧志線）、または14番（牧志開南循環線）に乗り、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター前または新川営業所にて下車

【お問い合わせ】 沖縄県地域統括相談支援センター（がんピアサポート相談室）
〒903-0215 西原町字上原207番地
琉球大学病院 がんセンター内 3階フロア
TEL:098-942-3407（直通） FAX:098-895-1497
info@gansoudan-okinawa.jp